

1. 業務名

富栄養化や貧酸素化に伴う水質・底質環境の悪化に関する研究、もしくは関連する水質データの時系列変動解析に関する研究業務

2. 所属

(ユニット名) 地域環境研究センター

(室名) 湖沼・河川環境研究室

(施設等名) 水環境保全再生研究ステーション霞ヶ浦臨湖実験施設 (住所: 茨城県稲敷郡美浦村大山 [4. 業務の内容 (1)] の水質分析の場合)

3. 募集人数

1名

4. 業務の内容

当研究室では、多様なモニタリング手法と先端的な水質分析を併用することで、霞ヶ浦を中心に水質・底質環境のモニタリングとその解析を行ってきた。また、2017年4月より始動した琵琶湖分室と協同して、琵琶湖南湖を中心に同様の湖沼環境モニタリングを行っている。さらに、気候変動適応の視点から、水温上昇等が湖沼・河川生態系に及ぼす影響を水質・底質環境を中心に解析している。

本公募研究員は、そうしたプロジェクトの一角を担うことが求められ、以下の2種類の基礎的研究業務のいずれか一方を行うこととする。

- (1) 「水質分析による水質・底質環境の解析」を推進する場合、河川水、湖水、底泥間隙水、排水等を対象に溶存している栄養塩、無機態イオン、有機物等もしくは懸濁物質の分析、あるいは溶存ガスの分析のいずれかもしくは複数を担当し、水質・底質環境の形成プロセスの研究を進める。特に底層の貧酸素化やそれに伴う底泥からの栄養塩回帰に起因する富栄養化現象等に関する研究の進展を目指す。水質分析は水環境保全再生研究ステーション霞ヶ浦臨湖実験施設で行う。
- (2) 「蓄積された水質データ群を用いた環境変動解析」を推進する場合、霞ヶ浦で40年余り蓄積されてきた多様な水質パラメーターや長期間・多地点で集積されてきた公共用水域のデータや当研究室が地方環境研究所と共同で進める複数の湖沼等で得られた水質データ (データロガーの高頻度データも含む) を対象に各種時系列変動解析を行い、その変動の周期性やレジームシフトの有無、気象変動等バックグラウンドのパラメーターとの関連性を統計学的手法により解析する。

5. 必要とされる専門分野及び資格

- (1) 採用時に博士号を有すること、又はそれに相当する業績を有すること。
- (2) 研究内容に関係する分野 (生物地球化学、陸水学、水文学、生態学、衛生工学) のいずれかに精通し、当該分野での研究実績を有すること。
- (3) [4. 業務の内容 (1)] を推進する場合、水環境保全再生研究ステーションへの自家用車等による通勤が可能であること。

6. 選考方法

書類審査の後、面接を行い決定する。面接を行う者には別途連絡をする。

7. 提出書類

- (1) 履歴書（写真添付、[所定の様式](#)を使用） 1部
 - (2) 研究業績目録（原著論文、著書、解説、口頭発表別） 1部
 - (3) 主要論文別刷り又はコピー（5編以内）各1部
 - (4) これまでの研究概要（A4判1～3枚程度） 1部
 - (5) 研究に対する抱負（A4判1～2枚程度） 1部
- （提出書類はご希望に応じて返却いたしますので、その旨を記載ください。）

なお、履歴書の職歴欄には、雇用先、雇用期間等を正確に記載して下さい。

また、国立環境研究所との間に雇用契約以外の契約・委嘱等の関係（共同研究、研究協力、労働者派遣、請負常駐等）がある場合は、その旨も記載して下さい。

8. 応募方法

郵送による。

（封筒に朱書きで「地域C湖沼河川特別研究員応募書類」と記載すること。）

9. 応募締切

随時受付、ただし適任者が見つかれば次第締め切ります。

10. 待遇等

（職種）特別研究員

（雇用形態）フルタイム

（1日の勤務時間）7時間45分

（時間外及び休日勤務の有無）有

（給与）「国立研究開発法人国立環境研究所契約職員給与規程」に基づき支給する。

基本給（日給）： 14,890円より （規程に基づき決定）

（その他就業関係）「国立研究開発法人国立環境研究所契約職員就業規則」及びその他関連規程によりご確認ください。

（参考）国立環境研究所基本規程 <http://www.nies.go.jp/kihon/kitei/index.html>

11. 採用予定時期

平成30年5月1日以降のなるべく早い時期。

12. 雇用期間

採用日より平成 31 年 3 月 31 日まで。

なお、研究所の事業計画、勤務実績等の状況により平成 35 年 3 月 31 日（最長更新限度）まで（採用日より前に国立環境研究所の契約職員として雇用されている実績がある場合は、労働契約法第 18 条の通算契約期間が 5 年の範囲内まで）の間に限り、年度単位での更新があり得る。

※労働契約法第 18 条の通算契約期間については、以下を参照して下さい。

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/roudoukijun/keiyaku/kaisei/index.html

13. 問合せ先及び書類提出先

国立研究開発法人国立環境研究所

（住所）〒305-8506 茨城県つくば市小野川 16-2

（ユニット名）地域環境研究センター

（室名）湖沼・河川環境研究室

（氏名）高津 文人

（TEL）029-850-2733

（E-mail）kohzu（半角で@nies.go.jp をつけてください。）

14. 公募番号

H30-研-018